隔週金曜掲載

和歌山を創る新聞 わかつく

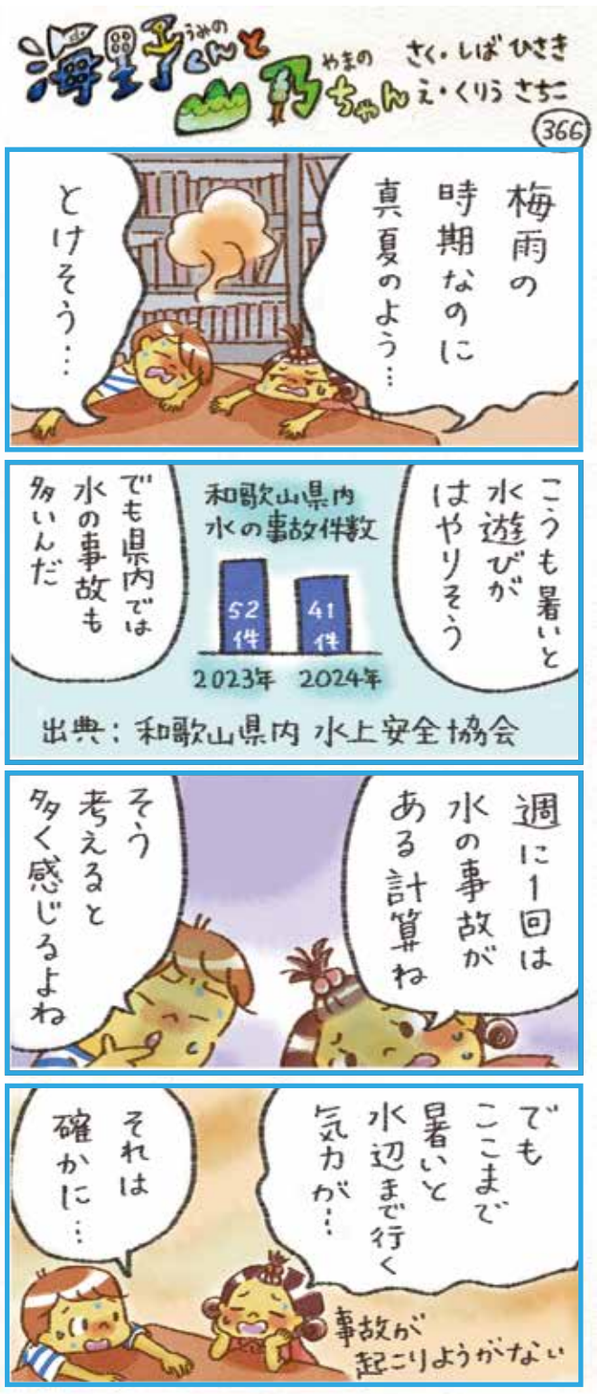
Vol.366
2025.7.11

認定特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223　FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp　URL https://wnc.jp/
編集　志場 久起

和歌山を創る新聞「わかつく」を読む会をしませんか

https://wnc.jp/works/wakatsuku

和歌山を創る新聞「わかつく」編集担当者が記事について説明するする勉強会などのご希望を承ります。わかやま NPO センターまでお気軽にお問い合わせください。



南海トラフ地震の最新の被災予測をみる（2）

わかつく第364号では、今年3月に政府の中央防災会議が発表した南海トラフ地震の新しい被害想定のなかから主に人的被害について取り上げました。今回はインフラ設備などの被害想定についてみていきます。わたしたちの日々の備えにも影響しそうです。

南海トラフ地震における和歌山県被害想定（2025 年 3 月発表）

	1 日後		1 週間後		1 か月後	
避難生活者数	279,000 ～ 463,000	うち避難所外 105,000 ～ 173,000	301,000 ～ 476,000	うち避難所外 133,000 ～ 199,000	290,000 ～ 459,000	うち避難所外 203,000 ～ 335,000

	直　後	1 日後	1 週間後	1 か月後
断水人口	720,000 ～ 830,000	730,000 ～ 830,000	430,000 ～ 610,000	100,000 ～ 170,000
下水道支障人口	240,000 ～ 260,000	230,000 ～ 250,000	28,000 ～ 160,000	4,200 ～ 24,000
電話不通回線数	230,000 ～ 240,000	210,000 ～ 220,000	9,700 ～ 47,000	7,600 ～ 27,000
都市ガス供給停止戸数	12,000 ～ 15,000	6,000 ～ 14,000	ごくわずか ～ 11,000	ごくわずか

	直　後	1 日後	4 日後	1 週間後
停電軒数	690,000 ～ 710,000	630,000 ～ 660,000	32,000 ～ 140,000	30,000 ～ 120,000
携帯電話基地局停波率	4% ～ 16%	81% ～ 86%	4% ～ 15%	4% ～ 15%

出典：中央防災会議 防災対策推実行会議・南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ報告書（2025 年 3 月）「南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会」において検討された複数のケースから、① 津波により東海・近畿・四国・九州のそれぞれで大きな被害が出るケース 4 つ、②想定される海寄りの震源域で冬の深夜に発生した場合と、想定の陸側の震源域で冬の夕方に発生した場合の 2 ケース、①×②＝8 ケースで推定した結果。いずれも概数。

県民の5割が避難？

最初に避難者数の想定をみます。震源の位置によって予想には大きな幅がありますが、最も少ない想定でも約28万人、最も大きな想定では約47・6万人と県民の半数以上が避難生活を送ることになるとしています。

日にちが経つにつれて、避難所以外で避難生活を送る方の割合が徐々に増えてくるとはいえ、初期には最大約30万人が避難所で過ごす想定となっており、避難所の収容力が十分か、救援物資が行き渡るか、などの課題が考えられそうです。

断水はほぼ全県で？

断水による影響を受けるとみられるのは、約72万人から83万人と和歌山県民の実に8割から9割にのぼり、甚大な影響が出ます。

発災から1週間が経過しても最大約61万人が断水の影響を受ける恐れがあり、飲料水や食料品の備蓄は最低1週間あったほうが望ましいと考えられます。

下水道もほとんどの地域で使えなくなりますが、こちらは1週間経過するとだいぶん復旧することが見込まれます。

通信にも大きな影響

固定電話は1週間程度経過するまで相当数が不通になります。

携帯電話回線は、基地局が停電になると非常用電源に切り替わりますが、それも燃料が尽きると電波が止まります。発災1日後には8割以上の基地局が使えなくなるとみられます。

これらから、発災から数日間は、ほぼ全県で電話・インターネットが不通になる可能性が考えられます。なお、和歌山県では非常時に備えて衛星通信回線の整備を計画するなどの対策を進めています。

電力・ガスも厳しい

電力については発災直後は県内ほとんどの世帯で停電するとみられます。4日後には大部分が復旧する見込みですが、発災から2～3日間は停電への備えが求められます。

都市ガスは供給エリアがそれほど広くないこともあってか、復旧にはさほど時間はかからないとみられますが、停電もあることから、電気や都市ガスが使えなくなった際のエネルギーの確保は大事になりそうです。

その他の被害

大きな地震が起きて、道路や鉄道等に被害があると「帰宅困難者」が発生しますが、和歌山県内では最大11万人の帰宅困難者が出る可能性があるとされています。勤務先や通学先近隣の避難所等の確認をしておくといいかもしれません。

日中の時間帯を中心に、エレベータへの閉じ込めのリスクもあります。時間帯等によっても変わりますが、和歌山県内では最大2000人程度が閉じ込められる可能性があると予測されています。

また、和歌山県は全国的にみても文化財が多い地域です。南海トラフの地震により、国宝や重要文化財も30件前後が被害を受ける可能性があるとみられています。

わかつく第330号で、大規模災害時に孤立する可能性がある集落数について取り上げましたが、今回の推計では、農村部で175～290、漁村部では80以上の集落が孤立する可能性があるとしています。このうち農村部では道路の損壊や山崩れなど、漁村部ではそれらに加えて津波の影響が想定されています。

和歌山県の想定では最大600の集落で大規模災害による孤立が発生する可能性があるとしていますので、このうち半数前後が南海トラフ地震での孤立が想定されていることになります。

わたしたち住民にできる備えとして、最新の被害想定を元にした備蓄品の種類や量を準備すること、自治会や町内会、自主防災組織などでは地域住民が一定期間を自力で生活ができるよう、発電機やアマチュア無線などの整備、避難所の運営訓練の実施などが考えられます。

ご自身や関係先の備えを改めて見直しませんか。（志場久起）

Kao ハートポケット倶楽部 × 認定特定非営利活動法人 わかやまNPOセンター

第 18 回和歌山地域貢献活動応援基金
わかやまいきいきファンド

助成団体募集！

簡易な書類で応募可能、「はじめての助成金応募」に最適！

全国の花王グループ社員有志のみなさんが毎月 1 口 50 円を任意の口数積み立て、NPO・ボランティア団体の支援や被災地支援などを行なう「花王ハートポケット倶楽部」。“わかやまいきいきファンド” は、同倶楽部が和歌山県内でがんばる NPO・ボランティア団体を対象とした活動助成をおこなうプログラムです。これまでに 120 を超える団体が助成を受けています。

第 18 回の助成プログラムの助成団体を募集いたします。みなさまの積極的なご応募をお待ちしております。

今回から募集・事業実施期間が変わりますので、ご留意ください

募集部門

スタートアップ支援事業　活動歴 2 年未満の団体対象。5 万円を 4 団体に助成します。

パワーアップ支援事業　活動歴 2 年超の団体対象。10 万円を 3 団体に助成します。

◆ 地域コミュニティ活性化につながる内容であれば、活動分野は問いません。
◆ 対象事業の実施期間は 2026 年 1 月から 2026 年 12 月まで。
◆ 2027 年 2 月を目途に事業報告・決算報告を提出いただきます。

応募方法

わかやま NPO センターのウェブサイト（https://wnc.jp/works/11664）から募集要項と応募用紙をダウンロードし、応募用紙に必要事項を記入いただき、ご応募ください。　※QR コードからもアクセス可能です。

募集期間

2025 年 7 月 11 日（金）～ 2025 年 8 月 22 日（金）消印有効

応募は郵送・FAX・電子メールのいずれかで受け付けます。
〒640-8331　和歌山市美園町 5-6-12　わかやま NPO センター
FAX　073-435-5425　E-mail　info@wnc.jp

関連事業・応募に関するご相談

助成金講座開催！（参加無料）

7 月 12 日（土）10:00 ～ 11:30、和歌山ビッグ愛 9 階会議室 C と ZOOM オンラインで開催。追って YouTube 見逃し配信を実施します。参加・見逃し配信ご希望の方は右上の QR コードからお申し込みください。

講座参加は応募の必須事項ではありません。また、見逃し配信のお申込みは 7 月 12 日以降も随時受け付けます。

応募書類作成に関するご相談は和歌山県 NPO サポートセンター（和歌山ビッグ愛 9 階）で承ります。TEL　073-435-5424　E-mail　info@wakayama-npo.jp
オンライン相談も OK ！お気軽にご相談ください。

主　催　花王ハートポケット倶楽部・花王株式会社
企画運営　認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター
TEL　073-424-2223（火曜から金曜 10 時～ 17 時、不在時は和歌山県 NPO サポートセンターに転送）
E-mail　info@wnc.jp

和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

サマー遊 ing2025 寄席

日　程　8 月 5 日（火）13:30 ～ 15:30
場　所　和歌山県立図書館メディアアートホール
内　容　こども落語、わかやま楽落会による落語、寄席芸
参加費　無料
主　催　わかやま楽落会
詳細・問い合わせは katoku071@outlook.jp、または 090-9864-1344・山本さん

このコーナーでは和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会加盟団体から提供されたイベント情報を不定期にお届けしています。